

四、調査部

○九州聯合會の調査部の事業も亦、華々しくは表面化されてゐないが、調査部こそは本年度の九州聯合會の運動全般に亘る參謀の中樞であつた。

九州聯合會では尙、完全なる調査機關を設備する財政上の余力なく、調査の方法、手段に於て不備な点も多々あるが、幾多の困難なる事情の下に於て、細心の注意と最大の熱意を以て調査事務に精進した。本年度の調査事項は大例年と同様で次の如くである。

- イ、各労働団体の行政、經營、事業の内容
- ロ、各労働団体の組織、宣傳、教育運動の實際
- ハ、各種労働争議の情況と九州聯合會關係諸争議解決條項實施運用の實際
- ニ、各産業部門の労働條件の實際と夫々の比較
- ホ、団体協約權運用の情況
- ヘ、労働者保護法の不備、缺陷の實狀と脱法行為の實際
- ト、九州聯合會の實踐運動の社會的影響
- チ、その他

右は主として無産団体、労働団体及び關係諸機關の各種刊行物、各種通信、記録並びに各地方に於ける九州聯合會の同志諸君の實際的視察と見聞の報告を基礎として調査されたものである。九州聯合會の調査設備はまだ甚だ不充分にして完全なる調査を行ひ得ないのは極めて遺憾とするところで、同志諸君に深くお詫びして本年度の調査部の報告とする。

五、争議部

イ、關係争議一覽表

争議と所在地	關係組合	原因	發生年月日 解決年月日	參加人員	主要要求	獲得條件
飯塚市失業者争議	日本石炭坑夫組合 筑豊合同労働組合	就業率低 下に依る 収入減	一月二十九日 二月二十九日	男女合計 二百三十名	賃銀値上と 就業率増加	使用人員延七百 銀一割増加
相田炭坑紛議 (嘉穂郡二瀬町)	日本石炭坑夫組合	労働の組 合員に對 する傷害	二月十三日	／	／	陳謝並に治療費 慰藉料の負擔
直方炭坑第一回争議 (直方市姫野)	日本石炭坑夫組合	設備條件 の劣悪	二月二十五日 二月二十七日	男女合計 百名	設備待遇の 改善	要求全部貫徹
直方炭坑第二回争議	日本石炭坑夫組合	前争議覺 書不實行	三月二十四日 三月二十八日	男女合計 百名	覺書實行	貫徹
三菱松田炭坑紛議 (嘉穂郡庄内村)	日本石炭坑夫組合	労働係の 組合常任 の傷害	四月二十六日	／	／	陳謝治療費慰藉 料の負擔
中央炭坑紛議 (嘉穂郡二瀬町)	日本石炭坑夫組合	労働係の 組合常任 の傷害	六月五日 六月十四日	／	／	陳謝治療費慰藉 料の負擔
大峯炭坑争議 (田川郡川崎村)	日本石炭坑夫組合	設備條件 の劣悪	六月二十二日 六月二十四日	十二名	賃銀値上設 備改善	四十多貫徹
山田炭坑争議 (嘉穂郡山田町)	日本石炭坑夫組合	女坑夫職 首に依る 収入減	六月二十八日	十六名	賃銀値上設 備改善	八十多貫徹
昭和バス争議 (直方市)	筑豊合同労働組合	請負廢止 及慰勞金の 要求其他	六月二十八日 七月十一日	七名 (全員)	自動車賃上 げ慰勞金の 支給	貫徹
牧野組争議 (企救郡呼野)	九州聯合會本部	賃金不拂	八月十九日 八月二十五日	二三名	賃金支拂	全額支給